

KUSANAGI

KUSANAGI

マネージドサービス
for

メディア

サービス導入事例集

KUSANAGI

マネージドサービス

for

メディア

サービス導入事例集

CONTENTS

読売新聞東京本社様 「yomiDr.(ヨミドクター)」 	3-4
メルセデス・ベンツ日本様 「Mercedes-Benz LIVE!」 	5-7
小学館様 「マネーポストWEB」 	8
ジャパンタイムズ様 「The Japan Times」 	9
コンデナスト・ジャパン様 「VOGUE GIRL」	10
扶桑社様 「bizSPA ! フレッシュ」 	11
コンデナスト・ジャパン様 「WIRED」	12
交通タイムス社様 「WEB CARTOP」 	13
AppMedia様 「AppMedia」 	14
NEWSY様 「しらべえ」 	15

読売新聞東京本社

業界最大級

読売新聞の医療・健康・介護情報サイト

「yomiDr. (ヨミドクター)」

サイトのパフォーマンスは大幅に改善し、月間3,000万PVに耐えうる設計になりました。また、運用にかかる時間も従来の1/6になり、コストも50%削減できました。



KUSANAGI for Microsoft Azure

メディアサイト

- リニューアル
- 24/365運用保守
- 高速化チューニング
- レスポンスの高速化
- セキュリティ強化
- 運用コスト削減
- PV数向上
- 常時SSL化
- 高アクセス対策
- 災害時遠隔地復旧
- 運用効率の改善
- 的確な提案

■ お客様情報

運営会社：読売新聞東京本社 サービスイン：2016年3月
サイト名：読売新聞の医療・健康・介護情報サイト「yomiDr. (ヨミドクター)」 利用製品：KUSANAGI for Microsoft Azure、KUSANAGIフルマネージドサービス
サイトURL：https://yomidr.yomiuri.co.jp/

■ 旧サイトの課題

アクセスの集中に対する十分な負荷対策ができていなかった。災害時に運用を続けられるための対策がなされていなかった。運用保守のコストが高かった。CMSの更新管理に時間がかかっていた。スマートフォン対応ができていなかった。

■ KUSANAGI for Microsoft Azureを利用したリニューアルの効果

月間3,000万PVに耐えられるWebサイトの実現。災害時の遠隔地復旧を1時間で実現できるWebサイトの実現。運用コストを50%削減。コンテンツ管理の作業時間の短縮。スマートフォン対応。

読売新聞東京本社 医療ネットワーク準備室 室長 丸山謙一様のコメント

「yomiDr. (ヨミドクター)」はサービスを開始してから5年が経過して、当時開発したシステムも古くなり、アクセス数も月間230万PVまで落ち込んでいました。スマートフォン対応や災害対策なども必要となったことから、サイトのリニューアルを考えました。次のCMSはコンテンツの更新頻度が高いことから更新し易さを重視しました。最終的に3社から提案を受け、技術力、エンタープライズWordPressの実績、保守体制、価格などを総合的に判断し、プライム・ストラテジーに委託することにしました。KUSANAGI for Microsoft Azureを採用したことで、サイトのパフォーマンスは大幅に改善し、月間3000万PVに耐えうる設計になりました。また、運用にかかる時間も従来の1/6になり、コストも50%削減できました。さらに今回は関東が有事の際に、関西で1時間以内に復旧できるような災害対策も施すことができました。



読売新聞東京本社
医療ネットワーク事務局長
丸山 謙一様

アクセス数耐性を3倍に増加、遠隔地復旧を1時間に短縮、運用コストを50%削減

9か月のプロジェクトを経て、業界最大級の医療・健康・介護情報サイト「yomiDr. (ヨミドクター)」がリニューアルいたしました。本プロジェクトにKUSANAGI for Microsoft Azureが採用された背景や効果などについてお話をうかがいました。



読売新聞東京本社
メディア局編集部 次長
山根 章義様

KUSANAGIを選んだきっかけ

——当時のCMSやシステムなどが抱えていた課題について教えていただけますでしょうか？

山根：コーナーを追加したり、コンテンツの更新をする際に、操作できるスタッフが当時1名しかおらず、1コーナーを作るのに30分かかかるような煩雑さがありました。病院やアンケートデータの月1回のメンテナンスでは、システム担当と電話で連絡を取りながら半日掛かりで行っていました。

また、想定以上のアクセスが集中すると表示遅延が頻発したほか、CSSの読み込みが遅れ画面が崩れる事象にも頭を悩ませていました。

酒井：インフラ面では災害対策が課題でした。災害の時ほど医療情報が役立つのに、一極に集中しているため、そこが被害にあえば運用が続けられなくなるという恐れがありました。

1時間以内に遠隔地でシステムを復旧

——遠隔地でのシステム復旧までの時間に条件はありましたか？

酒井：サービスダウンは1日以内という条件でした。実際には、東京側が大規模な震災によりダウンした場合でも、1時間以内に遠隔地でシステムを復旧して運営を継続できるようにしました。思った以上に早く復旧ができるようになったことに満足しています。

運用負荷の軽減

——CMSの課題は解決しましたか？

山根：コーナーの立ち上げは30分から5分くらいまでに短縮し、様々な作業が効率化され、多くのメンバーが更新作業をできるようにになりました。心配していた16万件の病院データとアンケートに回答した病院との紐付け作業は何度も設計図を書いてもらったおかげで、とてもスムーズに進みました。

柔軟かつ迅速な構成の変更

酒井：実は今回のプロジェクトでは、もともと月間1000万PVを想定したシステムでした。ところがPVの伸びから、プロジェクト後半になって月間想定PVを3000万PVに引き上げる必要がありました。その時もKUSANAGI for Microsoft Azure側のインスタンスを変更するだけで、すぐに対応できたことを評価しています。

インフラテストの時にもとても性能が良く、Microsoft Azureの管理画面で色々な情報が見られるので、非常に保守しやすくなったと感じました。

陣内：お褒めの言葉をいただき、ありがとうございます。Microsoft Azureは性能面、機能面、コスト面にお客様の評価が非常に高いクラウドです。是非、今回の「yomiDr. (ヨミドクター)」の横展開を提案させていただきたいです。



読売新聞東京本社
制作局技術一部
酒井 修平様



日本マイクロソフト株式会社
デベロッパーエンジニアリズム統括本部
ISVビジネス推進本部
パートナービジネス推進部 部長
陣内 裕輔様

読売新聞東京本社

参加者

- 読売新聞東京本社：
丸山 謙一 様 (医療ネットワーク事務局長)
山根 章義 様 (メディア局編集部 次長)
酒井 修平 様 (制作局技術一部)
日本マイクロソフト株式会社：
陣内 裕輔 様 (開発パートナーエバンジェリズム統括本部 ISVビジネス推進本部 パートナービジネス推進部 部長)
プライム・ストラテジー株式会社：
大曲 仁 (執行役員 CTO)
相原 知栄子 (プロジェクトマネージャー)
吉政 忠志 (インタビュアー / 取締役)



運用コストの大幅削減

——ロードバランサーでの冗長化と遠隔地での復旧となると金銭的にも高いシステムになったように思えますが…。

丸山：運営コストは前システムの半分のコストで済むようになりました。コストの削減も今回のリニューアルでの大きな課題でしたのでMicrosoft Azureを提案していただいてとてもよかったですと感じています。

経験や実績から判断された的確な提案

——今回のプロジェクトにおいて弊社スタッフの対応はいかがでしたでしょうか？

丸山：アクセス数の耐用上限を1000万PVから3000万PVに上げた時も、キャンペーン用にサブサイトを作ることになった時も、急な依頼にもかかわらず、対応いただけたことを感謝しています。

酒井：一緒にインフラテストを行ったのがとても楽しかったです。

山根：こちらから相談する際、すぐに「できません」という答えが返ってくるのではなく、ログインなどの細かい点も踏まえて、経験や実績から判断された的確な提案をいただけました。WordPressをよく理解している会社に依頼してよかったと思っています。

相原：いろいろお褒めのお言葉をいただき、ありがとうございます。難しいこともたくさんあり、大変なプロジェクトでしたが、多くの方々にご参加、ご協力いただいて、感謝しております。公開後も施策や機能追加のお話をいただいております。これからの成長も楽しみです。

——今後の展開をどのように考えていますか？

山根：有料会員増となる施策や多様化する外部配信への対応なども積極的に考えています。

丸山：動画の投稿をできるようにしたり、サブサイトの充実を図りたいと考えています。

大曲：「yomiDr. (ヨミドクター)」には、常時SSL、HTTP/2、PHP 7などの最新の技術を採用しているだけではなく、長年の構築のノウハウとクラウドの利点を生かして安定した運用を実現しています。これからの展開にも十分対応していけると思います。

吉政：本日はありがとうございました。プライム・ストラテジーの強みは国内トップクラスのWordPress構築案件の実績とノウハウ、そして超高速WordPress仮想マシン「KUSANAGI」のパフォーマンスの高さです。この2点を活かした提案と技術の評価いただけたと感じました。



プライム・ストラテジー株式会社
執行役員CTO
大曲 仁



プライム・ストラテジー株式会社
プロジェクトマネージャー
相原 知栄子



プライム・ストラテジー株式会社
取締役
吉政 忠志

システム構成

高速化技術

- ・PHP 7 × nginxによる高速化
- ・常時SSLとHTTP/2の採用で高速化
- ・ミドルウェア・サーバのチューニング

負荷分散と可用性

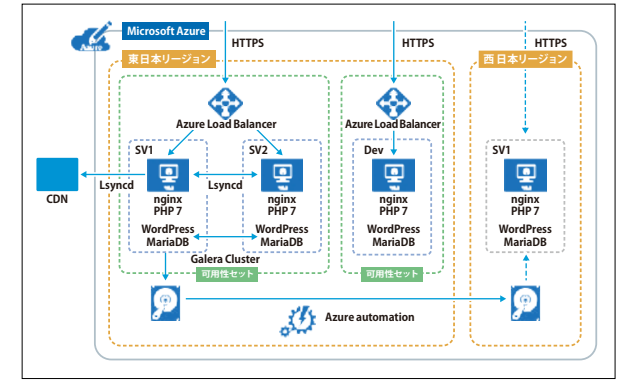
- ・可用性セットとAzure Load Balancer
- ・LsyncdとMariaDB Galera ClusterによるDBとファイルの双方向同期

地理冗長

- ・バックアップデータを西日本リージョンへ定期的に送り、有事のシステム復旧、継続稼働を可能に

Microsoft Azure

<https://azure.microsoft.com/>



WordPressのチューニングによる高速化

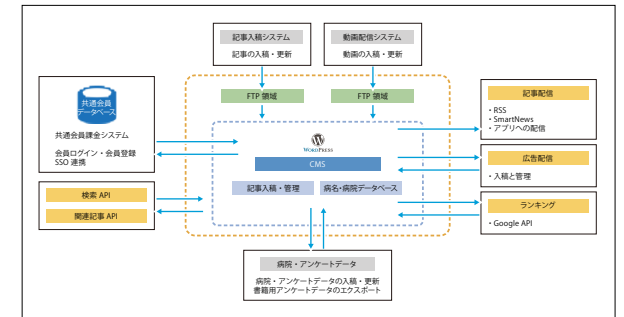
- ・高負荷時にも16万件の病院データをインポートを可能に
- ・ページキャッシュやTransients API・翻訳アクセラレータを利用した高速化

共通会員システムとの連携

- ・共通会員システムと連携し、ログイン・会員登録などを行う
- ・会員のステータスごとに細やかな表示の出し分けを行いつつ、高速な表示を実現

外部システムとの連携

- ・記事投稿システムや動画配信システムと連携したWordPressへの記事の投稿
- ・RSS等による記事配信
- ・JSONによるアプリへの記事配信



「KUSANAGIフルマネージドサービス」とは

ハードウェアやミドルウェアなどの運用環境だけではなく、テーマやプラグインのソースコード修正、SQLの最適化、データベース構造の見直しなど徹底したチューニングを実施。継続的なパフォーマンス改善の施策から保守運用までをワンパッケージで提供するWordPressに特化したマネージドホスティングサービスです。

<https://kusanagi-hosting.com/>

	従来のサービス	KUSANAGI フルマネージドサービス
WordPress・サーバチューニング	無し	WordPress・ミドルウェア・サーバチューニング
WordPress 保守サービス	A 社 WordPress 保守サービス	+
サーバマネージドサービス	B 社 サーバマネージドサービス	+
		パフォーマンスと信頼性重視のサーバマネージドサービス

メルセデス・ベンツ日本株式会社

我々が扱うのは単なる機能の塊ではなく、
かけがえのない何かなのだとすることをサイトを通じて伝えたい。

メルセデスの多彩な車種に重なる、上質なライフスタイルコンテンツを発信

「Mercedes-Benz LIVE!」

<https://mb-live.jp>

KUSANAGI for Microsoft Azure導入



メルセデス・ベンツ日本株式会社
マーケティング・コミュニケーション部
メディア・コミュニケーション課マネージャー

津止 久雄氏



メルセデス・ベンツ日本株式会社
マーケティング・コミュニケーション部
メディア・コミュニケーション課

若井 聡子氏

130年に及ぶ人類のモータリゼーションの歴史、
時代とともに自動車業界を取り巻く環境は常に変化をしてきた

メルセデス・ベンツ日本株式会社は、ドイツ、ダイムラー社の100%子会社として、自動車誕生からちょうど100年となる1986年に設立された。"メルセデス・ベンツ、最も愛されるブランドへ"というカンパニービジョンを掲げ、全国のメルセデス・ベンツ正規販売店と共に、最高の製品、サービス、ブランド価値をお客様に提供すべく日々、尽力している。

1886年、ゴットリーブ・ダイムラーとカール・ベンツがそれぞれ発明した二台の自動車によって、人類のモータリゼーションの歴史が始まった。それから130年経ち、時代とともに自動車業界を取り巻く環境は常に変化をしてきた。

流入が増えた時も安定稼働ができるよう、
「Microsoft Azure」を採用

「Mercedes-Benz LIVE!」は当時イベントやモータースポーツのレポートなど、会社として実施している活動を発信する場として2015年に立ち上げた。2017年のリニューアルでは、新たな顧客層にも情報を届けるべく、これまで培ってきたメルセデス・ベンツの“機能”や“性能”といったプロダクトリ寄りの情報発信だけでなく、“感情”や“感覚”など、右脳のイメージに訴えるような記事や写真を増やしている。リニューアル後のアクセス状況に鑑み、各種媒体からの流入が増えた場合にも安定稼働ができるよう、プラットフォームに「Microsoft Azure」を採用したことで、3.5倍にPV数が増加した現在も安定した運用を続けている。



Mercedes-Benz LIVE!

メルセデス・ベンツ日本株式会社

まず人々の生活があり、
車はそこに寄り添う形で存在する。

価値観の多様化と、求められる自動車像の変化 デザイン、モデルバリエーション、コンパクト

長い間、メルセデスのプロダクトに対して一般の人々が抱くイメージと言えば“質実剛健”といったものだった。“デザインは機能に従う”という有名なバウハウスの言葉があるが、これは正にメルセデスの、物づくりの思想そのものを表現するような言葉だった。

しかし、現在のように価値観が多様化すると、車に対する顧客の

ニーズは大きく変化する。その一端が、よりスタイリッシュで、感性や感情に訴えるようなデザインや、様々なライフスタイルに合ったモデルバリエーションへの欲求だ。また、東京のような過密化や交通渋滞が進む都市部においては、以前、求められていた大型・中型のセダンではなく、コンパクトで小回りの効く車の選択肢が必要になる。

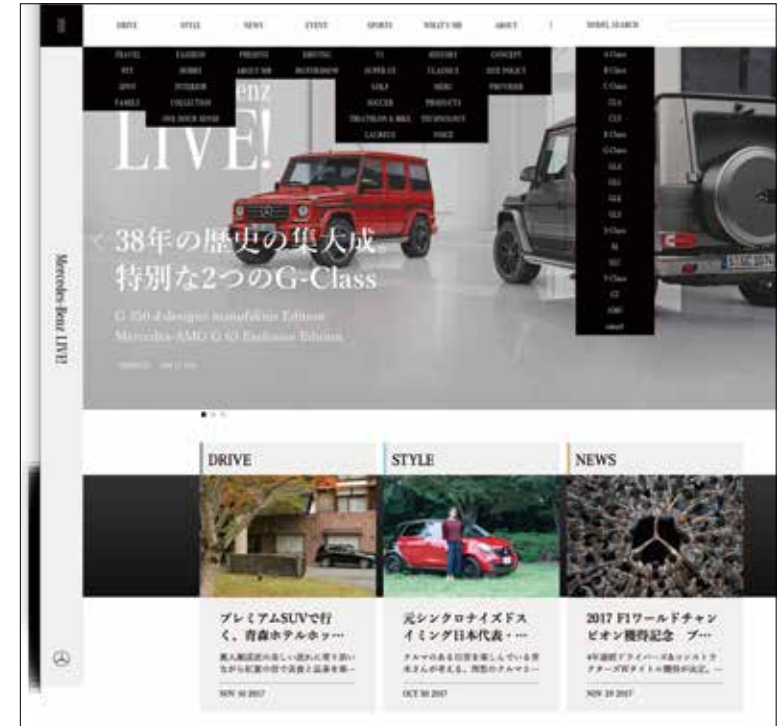
新しい顧客層へ向けたメルセデスの情報発信サイト ナビゲーションには車とは直接結びつかないキーワードも

ここ数年間で、メルセデスのラインアップは急速に広がった。現在では、国産最大手のメーカーにも引けを取らないほどのポートフォリオとなっている。「Mercedes-Benz LIVE!」の役割は、こうした様々なニーズを持つ顧客の価値観そのものに立脚した情報の発信を行うことである。それは決して“車寄り”ではなく、顧客目線でブランドを切り開いていくという新しい試みなのだ。

こうした情報へのアプローチとして、「Mercedes-Benz LIVE!」のグローバルナビゲーションには、“FASHION” “TRAVEL” “SPORTS” など、一見して車とは直接結びつかないキーワードが並んでいる。またテーマが“DRIVE”であっても、そこに展開されているのは“人と車”であったり、“場所と車”などといったライフシーンだ。まず人々の生活があり、車はそこに寄り添う形で存在する。“SPORTS”や“EVENT”などで扱っているのは、平素から活発に行なっている他ブランドとのコラボレーションであったり、F1レース、ゴルフ、トライアスロン、サッカーなど、メルセデスがスポンサーを務めているスポーツの情報や、モーターショーなどの

時期に応じた情報である。また“WHAT'S MB”では、メルセデスが130年間に渡り培ってきたクルマ作りの技術の紹介や発明の歴史、製品のコアな情報などを提供している。

「Mercedes-Benz LIVE!」は立ち上げ当初から現在まで、様々な試行錯誤を行ってきた。今回のリニューアル以前は、まだ“車寄り”のコンテンツが多かった。しかし、サイトの運営を担当しているコンテナスト・ジャパンとともに、人々がより生活に即した感性レベルの興味からこのサイトを訪れるような施策をすることで、新たな顧客層へとリーチし続けている。メルセデス・ベンツ日本株式会社マーケティング・コミュニケーション部メディア・コミュニケーション課マネージャー 津止 久雄氏は次のようにコメントしている。“極端な言い方ですが、これまでメルセデス・ベンツに興味のなかった人に対しても、サイトに来て、記事を読むことでメルセデスの世界観に共感していただけるような情報を発信をして行きたいと思っています。”



「Mercedes-Benz LIVE!」プルダウンメニュー構成

DRIVE	FASHION	NEWS	EVENT	SPORTS	WHAT'S MB	ABOUT	MODEL SEARCH
TRAVEL	HOBBY	PRESENT	DRIVING	F1	HISTORY	CONCEPT	
PET	INTERIOR	ABOUT MB	MOTORSHOW	SUPER GT	CLASSICS	SITE POLICY	
SPORT	COLLECTION			GOLF	MERC	PROVIDER	
FAMILY	ONE HOUR SENSE			SOCCER	PRODUCTS		
				TRIATHLON & BIKE	TECHNOLOGY		
				LAUREUS	VOICE		

東京・六本木、大阪・梅田、 情報発信拠点「メルセデス ミー」稼働。

「車を売らない」リアルショップも開始、 様々な形で発信される情報を繋ぎ、まとめることがWebの役割

「Mercedes-Benz LIVE!」には「She's Mercedes」という女性向けのサイトもある。メルセデスのサイトのペルソナは主に40~50代の男性だが、「Mercedes-Benz LIVE!」はそれよりも10歳ほど若い顧客や、女性の新しい顧客層からのアクセスを獲得しているということが、コンデナスト・ジャパンの分析により明らかになっている。これは「She's Mercedes」の各種コンテンツ、“ファッション”や“トラベル”などの潜在層向けの情報を厚めに発信し続けたことが功を奏したと考えられる。また、サイト以外にも4月からの3ヶ月間を通じてソーシャル、ニュースレターなどでの配信を精力的に行っており、その結果が流入の増加という形で現れている。特に7月には広告を開始したこともあり、8月以降は流入が大幅に増えた。PV数では「KUSANAGI for Microsoft Azure」への

移設以前と比較して3.5倍増加した。Webサイト以外では、東京・六本木と大阪・梅田にブランド情報発信拠点「メルセデス ミー」(旧:メルセデス・ベンツ コネクション)という実店舗を設け、人々のライフシーンに寄り添うような車のあり方を提案している。この店舗はギャラリーであり、レストランであり、カフェであり、ショップだ。試乗車も用意してはいるが、車の販売は行わない。

このようにメルセデスは、日々、膨大な情報を様々なメディアを通じて発信している。Webにはこうした多彩な情報を繋ぎ、まとめるという重要な役割がある。「Mercedes-Benz LIVE!」はその一つだ。

自動車業界を取り囲む大きな変革の渦にあっても、 人々から愛され続ける車でありたい

「メルセデス」という社名が、女性の名前から来ているというのは有名なエピソードだ。エミール・イエリネックというメルセデスエンジンの開発にも関わったことのある人物の娘の名前である。エミールの娘に対する溺愛ぶりはよく知られており、展示会の会場に愛娘の巨大なポートレートを飾るほどであった。「メルセデス」を社名にした経緯について、津止氏は次のように語る。“「メルセデス」という名前には、「大切な人を愛するように、

人々から愛される車でありたい」という想いが込められています。現在、自動車業界は自動運転や電気自動車などといった技術により、大きく変革しようとしています。そうした流れの中にあって、我々が扱うのは単に車という名の機能の塊ではなく、その背景に様々な想いや思想を持つ、かけがえのない何かなのだということを、このサイトを通じて伝えたいです。”

KUSANAGI for Microsoft Azure

情報サイト

リニューアル	高速化チューニング	KUSANAGIフルマネージド
レスポンスの高速化	セキュリティ強化	運用コスト削減
PV数向上	常時SSL化	高アクセス対策
運用効率の改善	的確な提案	迅速な対応

サイトインフォメーション

お客様情報

運 営 会 社：メルセデス・ベンツ日本株式会社
本 社 サイト URL：https://www.mercedes-benz.co.jp/
サ イ ト 名：Mercedes-Benz LIVE!
サ イ ト U R L：https://mb-live.jp
サ ー ビ ス イ ン：2017年4月
利 用 製 品：KUSANAGI for Microsoft Azure
本 社 所 在 地：東京都品川区
事 業 内 容：自動車とその関連製品の輸入・販売およびサービス

旧サイトの課題

2017年4月のリニューアル前は、急激なPV数の増加によりシステムが不安定になることがあった。今後、さらなるPV数増加、回遊率アップを図る為にも、安定稼働が見込めるプラットフォームを準備する必要があった。

KUSANAGI for Microsoft Azureを利用したリニューアルの効果

「KUSANAGI for Microsoft Azure」稼働後、システムは安定しており、PV数を3.5倍まで伸ばすことができた。

「マネーポストWEB」がKUSANAGIを採用し、収益拡大と更なるPV/UU増加施策を展開

「マネーポストWEB」



急激なアクセス数の増加があった場合でも、安定して快適な閲覧ができるようになり、アクセスが集中した時もPVを取り逃がすことがなくなりました。



KUSANAGI for AWS

メディアサイト

- KUSANAGIフルマネージド
- 高速化チューニング
- マイグレーション
- レスポンスの高速化
- セキュリティ強化
- 運用コスト削減
- PV数向上
- 常時SSL化
- 高アクセス対策
- 収益化の強化
- 運用効率の改善
- 運用コストの一定化

■ お客様情報

社名：株式会社小学館
 サービスイン：2017年10月
 サイト名：マネーポストWEB
 利用製品：KUSANAGI for AWS
 サイトURL：https://www.moneypost.jp/

■ 旧サイトの課題

- ・PV急増時など、既存のサーバでは動作が重くなる
- ・PV急増時に備えるため、恒常的にサーバのインスタンスを上げるとコストがかさむ

■ サービス導入後の効果

- ・急激なアクセス増加に耐えられるWeb環境を構築できた
- ・サーバ運用コストダウン

お得で良質な最新マネー情報を毎日発信「マネーポストWEB」

小学館のマネー情報サイト「マネーポストWEB」は、お金を「殖やす」「節約する」「使う」の3つを賢く選択するためのマネー情報サイトだ。以前は「週刊ポスト」の増刊であるマネー情報誌「マネーポスト」として発行されていたが、取り扱う情報量の増加や、よりスピーディーな情報発信を行う必要があったため、2017年夏号(6月1日発売号)をもってウェブに完全移行、統合された。この戦略が当たり、「マネーポストWEB」は飛躍的にアクセス数が向上し、多くのファンが閲覧する注目のマネー情報サイトとなった。

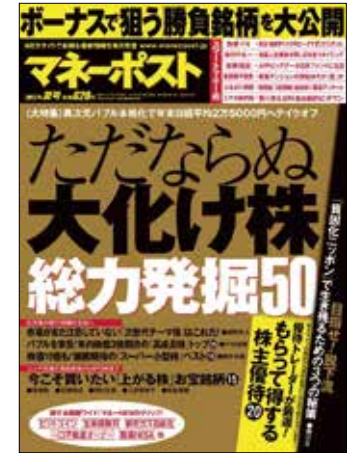
「マネーポストWEB」の魅力は、株・FX・投資信託・不動産・仮想通貨などの投資情報や、経済予測・企業分析・働き方・仕事術などの経済・ビジネス情報、年金・医療・保険・介護などの公的制度情報、さらにはクレジットカード・住宅ローン・節約・旅行術などのあらゆる暮らしのマネー情報まで、お得で良質な最新マネー情報を毎日発信するという情報量にある。

現在、「マネーポストWEB」では、「週刊ポスト」「女性セブン」「SAPIO」に掲載されたマネー記事をウェブ向けに再編集して発信するとともに、独自の切り口で取材・構成したウェブオリジナル記事を多数掲載している。専門家による経済分析から、暮らしに役立つ実用記事まで、硬軟織り交ぜた豊富なマネーコンテンツが人気だ。特に、暮らしのマネー記事は、身近なテーマを

わかりやすく豊富に取り上げているため、これまで投資に興味のなかったエンタリー層の獲得につながり、急激なアクセス数の増加に拍車がかかっているのではないだろうか。

アクセス数の急増は土日をいとわない対応が強いられ、コストのひっ迫を招く

「マネーポストWEB」の記事は、各ポータルサイトにも配信されているが、たとえばYahoo!トピックスなどで取り上げられると、自サイトに大量のアクセスが流れ込むような状況が頻繁に起こっていた。アクセス数の急増に対応するべく、その都度、クラウドサーバのスペックを強化する日々が続いた。当時、編集部では常にポータルサイトに大きく取り上げられていないかどうかをチェックして、大量のアクセス流入が予想されるときにはすぐにシステム部門に連絡していたという。システム部門はサーバをリポートして、インスタンスを増やすなど対応に追われた。急激なアクセス増は、平日も休日も関係なく発生するため、土日にシステム部門に電話し、対応を依頼することもあったという。ニュースのヒットはまさに、いつ来るかわからないという状況だ。この時の状況を、株式会社小学館 ポスト・セブン局 NEWSポストセブン編集室 副編集長 向山 学氏は次のようにコメントしている。“このままアクセス数を成長させていきたいところだが、運用コストがひっ迫していくのはどうなのか。”



雑誌『マネーポスト』は2017年夏号をもって雑誌からウェブに完全移行した

収益化を強化するためにKUSANAGIが必要だった

この課題は作業を多忙化させるだけでなく、コストにも影響し、深刻なジレンマを招いた。例えば、急激なアクセス増がある時にインスタンスを増やせばコストが増すが、そうでない時は元に戻さなければ運用コストがかさんでしまうということだ。当時のサーバ環境では賄いきれない状態になっていたという。アクセスが高い状態に合わせてサーバ環境を構築すると、平常時にコストオーバーになる。アクセス数が低い状態に合わせてサーバ環境を構築するとアクセスが急増したときに表示スピードが落ちてしまい、PV数が伸び悩むというジレンマだ。このような時に、他部門で導入し、成果を上げていた「KUSANAGI」の採用が検討された。

低コストで更なる拡大路線をとれるようになった

「KUSANAGI」導入後は、ニュースがポータルサイトに取り上げられ、急激なアクセス数の増加があった場合でも、安定して快適な閲覧ができるようになった。これによりアクセスが集中した時もPVを取り逃がすことがなくなったという。現在、プライム・ストラテジーにクラウドの管理も一元的に依頼していることもあり、月額運用コストが一定化し、且つ、コスト削減も実現できたという。超高速なウェブアクセス環境を構築でき、運用コストが安定し、見えるようになってきたため、配信先を増やすなど、更なる拡大施策を展開できるようになったという。「マネーポストWEB」は「KUSANAGI」を採用することで収益を拡大できるPV/UU増加施策を展開できるようになったのだ。

株式会社ジャパンタイムズ

少ないサーバでも安定した稼働を実現

月間800万PV、日本最古の英字新聞「The Japan Times」がサーバ・保守料金を2/3に減少

「The Japan Times」

今回の移設で、小さいサーバになって台数も少なく、スケールも1/4程度のサイズです。コストは、サーバ代金と監視、保守会社の3点のトータルで考えると2/3程度になったと思います。

the japan times



KUSANAGI for AWS

コーポレートサイト

- マイグレーション
- 高速化チューニング
- 24/365運用保守
- レスポンスの高速化
- セキュリティ強化
- 運用コスト削減
- PV数向上
- 常時SSL化
- 高アクセス対策
- 技術相談
- 安定稼働
- 運用効率の改善

■ お客様情報

運営会社：株式会社ジャパンタイムズ 利用製品：KUSANAGI for AWS
サイト名：The Japan Times
サイトURL：https://www.japantimes.co.jp/

■ 旧サイトの課題

- 保守会社がビジネスタイムのみで、土日・夜間に問題が発生しても対応ができない。
- トラフィック増によってサーバを増設したが、料金が跳ね上がってしまった。

■ サービス導入後の効果

- 24時間365日の保守体制を構築でき、安定したWebサイト運営ができるようになった。
- サーバ、保守のコストを2/3に減少させることができた。



株式会社ジャパンタイムズ
執行役員補佐経営管理局長 兼
経営推進部長 大野 裕幸氏

世界で読まれる日本最古の英字新聞「The Japan Times」とは

株式会社ジャパンタイムズは、主に日本国内の情報を世界に迅速かつ、正確に伝えていくのをミッションとして、1897年に設立された日本最古で最大の英字新聞社だ。同社が発行する「The Japan Times」の創刊当時、文明開化によって西洋の文化が日本に入り、それまでの制度や習慣は大きく変化していた時期だった。当時、外国人から見た日本は、まだ近代化には程遠いとみられており、そうした状況を見た創業者たちが、「日本のイメージをしっかりと伝えたい」と考え設立された。

海外へ事業展開していた企業や財界人から、資金面での協力を得ながら、「日本から英語で発信する」ことを大切に今日まで運営されてきた。こうして始まった日刊英字新聞「The Japan Times」は、創業当時は日本に住む外国人が主な読者だったが、現在は世界中に広がりを見せている。それはインターネットの普及によってWeb版を公開したことにより、多くの人々が最新の情報をいち早く手に入れられるようになったことも大きな要因だろう。

また、同紙は災害発生時に訪日中の外国人や、家族が日本に訪れていることで不安な日々を過ごしている人のために無料開放し、最新の情報を得られるよう配慮している。そういった細やかな心配りも魅力の一部なのだ。同社の執行役員補佐 経営管理局長 兼 経営推進部長 大野 裕幸氏は最近の本紙について次のように教えてくれた。「日本に対する興味は年々明らかに急増しているの、どのように日本の姿とその魅力を伝えれば、日本への理解につながるのかというのを考えながら、一民間企業ではありますが、毎日情報を編集して発信しております。アクセス数は月間800万PVで、アクセス数は伸びてきています。」

サーバ料金の急激な増加と保守問題

『The Japan Times』のWeb版は、100周年を迎えた97年頃に公開され、月間800万PVを集めている。1日100本ほどのニュースを24時間365日、国内外にいる編集者によって更新されており、大きな事件やニュースが起きた時には、1分でも早く掲載されるよう運営されているため、安定したWebサイト運営は大前提となる。

サーバにはAWSを採用し、AWSパートナーである保守会社にAWSの設定と保守を委託してきたが、運営を続けていくうちにトラフィックが増加し、Webサイトの表示速度が遅くなってしまった。そこで、サーバスペックを上げることで対処したがその分コストが上がってしまった。また設定変更によってデータ転送フィーが2.0倍近くになってしまったことがあった。そんな中、土日に障害が発生し、対応が遅れてしまったことから、保守会社の変更を考えるようになる。



株式会社ジャパンタイムズ
編集局 メディア制作部
部長 千振 弘光氏

もともと保守を委託していた会社はビジネスタイムでの保守のみで、夜間や土日は対象外となっていた。この時のことを踏まえ、委託先の変更には土日夜間も含めた対応をしてくれる保守会社にするにし、以前提案を受けていたプライム・ストラテジーならばその条件を満たしておりサーバ費用も含まれるのでコストの変動を気にすることも魅力を感じ、委託することにした。

コストは2/3に減少、少ないサーバでも安定した稼働が可能

移設は、サーバをAWSのままにし、「KUSANAGI」を導入することにした。同サイトのデータベースは大きく、かなりの作り込みをしていたため、深夜から早朝にかけての作業を行った。導入後1週間程度は問題が発生したが、それも即時行ったチューニングによって、すぐに快適な状態になったという。

編集局 メディア制作部 部長 千振 弘光氏は導入後について次のように語っている。「以前、ApacheからNginxに変えたときには、正常に動かなくなった機能がたくさんあったので、今回の移設でも何かあるだろうなとは思っていましたが。結構作りこんでいて、データベースも膨大なもので、でもすぐにチューニングしてもらって、今は快適に動いていると思います。速度も改善され、海外担当者からは何か問題があったらすぐに連絡が来ますが、それもないので大丈夫なのでしょう。『KUSANAGI』はとにかく不思議ですね。前の環境の時に、データベース用のサーバには大きいものを3台、Webサーバは支援用を含めて3台用意していましたが、今回の移設で、小さいサーバになって台数も少なく、スケールも1/4程度のサイズです。なんで動いているんだろうと不思議です。コストは、サーバ代金と監視、保守会社の3点のトータルで考えると2/3程度になったと思います。」



今後も、より正確なニュースをスピーディーに届けていく

今後、「The Japan Times」は、どのように運営されていくのか。大野氏はこう答えている。「日刊の英字紙が看板商品として中核をなしているの、すべてを電子化するわけではありません。紙の読者を増やしていきたいですね。そのためには、より正確なニュースをスピーディー、かつ、『The Japan Times』というブランドを、一人でも多くの人に認知してもらうためにデジタル化は欠かせないです。現場としても、毎日新聞は作りますが、デジタルファーストというポリシーは持っています。デジタルも紙も、きっちりとやっていきます。」

合同会社コンデナスト・ジャパン

ファッション誌「VOGUE GIRL」の公式サイト

「VOGUE GIRL」

迅速に動いていただけるプライム・ストラテジーの姿勢を評価しています。営業寄りの担当者であっても技術的な部分の窓口も対応され、幅広い対応をする営業という印象でした。

WordPressサポートプラン

メディアサイト

WordPressサポートプラン	WordPressアップデート	
レスポンスの高速化	セキュリティ強化	運用コスト削減
PV数向上	常時SSL化	高アクセス対策
プラグイン最適化	改ざん検知	迅速な対応



■ お客様情報

運営会社：合同会社コンデナスト・ジャパン
サイト名：VOGUE GIRL
サイトURL：https://voguegirl.jp/

サービスイン：2017年5月
利用製品：WordPressサポートプラン

■ 旧サイトの課題

今までのレガシー（テーマ、プラグイン）を清算し、サイトの品質向上が急務。サーバ負荷の軽減と、ページのロード時間短縮。編集部からのリクエストで、テーマファイル改修が大量にでており、社内外エンジニア含めて手一杯。都度外部に見積もりを出して依頼するのが手間だった。

■ WordPressサポートプランの導入効果

迅速で高度なWordPressのサポートが受けられるようになった。社内運用コストの軽減。

WordPressに脆弱性が見つかったことで 保守について考えるようになりました

少し前にWordPress4.7.1に大きな脆弱性が見つかったことがありました。このタイミングで脆弱性の解決や今後の保守についてしっかり考えるようになりました。プライム・ストラテジーを含めて4社から提案を受けましたが、WordPress業界というのはまだ価格相場が決まっておらず、各社の提案内容も価格もかなり差がありました。そのような中でWordPressに関する技術力、サービス内容、投資対効果を考え、プライム・ストラテジーの「KUSANAGI公式サポートサービス」を採用することにいたしました。

当サイトはファッション誌「VOGUE GIRL」の公式サイトです。ファッションやビューティ、ライフスタイルなど、独自のコンテンツに加え、

Instagramと連動したスナップ写真も掲載、さらに海外セレブやモデルの最新情報なども多数掲載されています。

WordPressの知識や経験、勤所が良く、安心してお任せできます

今回依頼した保守内容は本体動作確認とアップデート、プラグイン、コンテンツの改ざんが行われていないかどうかの確認などでした。プライム・ストラテジーはバックエンドエンジニア、インフラの社員層が厚いので安心して依頼できました。

CMSについては本サイトの立ち上げ当初、運営がしやすいものを検討したところ、WordPressはOSSであり、ソフトウェアとして大きなバグなども解決されている、いわゆる「枯れた」ソフトウェアであるため採用したと聞いています。

またGCP (Google Cloud Platform) に関しては、サーバ構成 / 運用に独特の「クセ」があることも確認できています。具体的には実際にやってみると、過負荷でチューニングのし直しが必要などということもありません。

そのような状況で、WordPressにて作られた「VOGUE GIRL」サイトを健全に運営していくために、高い技術力を持っているプライム・ストラテジーの「KUSANAGI公式サポートサービス」を採用いたしました。プライム・ストラテジーは大曲CTOをはじめとする、業界でも名前が知られたディレクターや技術者が多く在籍しているため、WordPressの知識や経験、また問題解決のための勤所などが良く、安心してお任せすることができます。

迅速に動いていただけるプライム・ストラテジーの姿勢を評価しています

営業寄りの担当者であっても技術的な部分の窓口も対応され、幅広い対応をする営業という印象でした。プライム・ストラテジーは体育会系でフルスタックな人材が多い印象があります。当社はメディアの会社です。編集部は非常に体育会系の体質で、ハードに働く社員が多いです。そのような働き方を求める傾向があります。その点、プライム・ストラテジーのスタッフの皆さんの動きは、きびきびしており、対応もやはり同じで、当社の気質と合っているように思えます。迅速に動いていただけるプライム・ストラテジーの姿勢を評価しています。

プライム・ストラテジーのような専門性の高いベンダーに依頼しないとエンタープライズWordPressの運営は難しい

当社もそうでしたが、過去に場当たり的に採用したプラグインが残っていることがあります。WordPress本体のバージョンがアップしてもプラグイン開発者の対応が追いついていないこともあります。そのような状況で、エンタープライズWordPressを健全に運営していくにはプライム・ストラテジーのような専門性の高いベンダーに依頼しないとエンタープライズWordPressの運営は難しいと思います。「VOGUE GIRL」はファッションメディアなので、見た目やデザインが重要です。テーマの改修も軽微なものであれば料金内で対応いただけるとのことで、こちらも期待しています。

また今回は、現状のベンダー様との座組ができることも、プライム・ストラテジーを選んだ理由の一つです。

KUSANAGI公式サポートサービスについて

<https://kusanagi-hosting.com/>



合同会社コンデナスト・ジャパン
チーフ・テクノロジー・オフィサー
仁礼 英銘様

株式会社扶桑社

「週刊SPA！」が運営する新サイト「bizSPA! フレッシュ」、編集部が認める「KUSANAGI」の実力

「bizSPA!フレッシュ」

初月に150万PVに到達しましたが、それだけのPV数を獲得しても動作への影響を感じずに運営ができています。

KUSANAGI for AWS

メディアサイト

CMSサイト開発パッケージ	KUSANAGIフルマネージド	
レスポンスの高速化	セキュリティ強化	運用コスト削減
PV数向上	常時SSL化	高アクセス対策
丁寧な対応	管理画面高速化	安定稼働



■ お客様情報

運営会社：株式会社扶桑社
サイト名：bizSPA! フレッシュ
サイトURL：https://bizspa.jp/

サービスイン：2018年3月
利用製品：KUSANAGI for AWS

■ 旧サイトの課題

サクサク動くWebサイトを作りたい

■ サービス導入後の効果

安心感を得られるサポート体制が得られた

ビジネスの内容&ビジョン&サイトの概要

株式会社扶桑社は、1984年に設立された大手老舗出版社だ。ライフスタイルやファッション、料理をテーマにした情報誌や、小説などの書籍を取り扱っており、同社が手掛ける有名な出版物である「ESSE」や「週刊SPA!」の名前を聞いたことのないものはいないだろう。また、ここ数年のスマートデバイスやSNSの普及によって急激に変化しつつあるメディアを取り巻く環境の流れを汲み、総合出版社として長年培ってきた書籍・雑誌のノウハウを生かし、最近ではWebメディアや電子書籍の展開はもちろん、地方創成やイベントなど、従来の出版会社にとどまらない新たな取り組みを行っている。

そんな同社の代名詞ともいえる「SPA!」は、その取り上げられる多彩な記事に注目する読者は多く、その読者層は多岐にわたる。その特性を生かし、近年、「週刊SPA!」のWeb版である「日刊SPA!」や、女性読者をメインターゲットとした「女子SPA!」、ビジネスに特化した「HARBOR BUSINESS Online」など、読者層やテーマ別の情報サイトを続々と立ち上げている。そんな中で、新たに2018年4月に公開されたのが、20代の若手ビジネスマン向けの「bizSPA! フレッシュ」だ。20代後半の若手編集長を始めとしたメンバーで運営されている同サイトは、これまでの読者層の中でも新たな若年層読者獲得のために制作され、公開初月には150万PVを獲得、以降、順調に閲覧数を伸ばしており、その注目度の高さが窺える。

丁寧なプロジェクト進行に安心感

「bizSPA! フレッシュ」の立ち上げにあたって、編集部は、これまでに立ち上げた姉妹サイトとは別の制作会社へ委託することで検討を進めていた。重要視していたのは動作の軽さ。様々な企業から提案を受ける中、以前より営業を受けていたプライム・ストラテジーの「KUSANAGI」が、速さの速さを売りとしていたことを聞き、同サイトで採用することにした。

導入作業でもトラブルは発生せず、コミュニケーションロスも発生しなかったというが、その中で印象的な出来事として、週刊SPA! Web編集部ディレクター 浅川 恭平氏は次のようにコメントしている。“物事の進め方が一個一個丁寧だなと思います。助かったこととして、配信先向けのRSSフィードを作る際、こういう風にしてほしいと依頼をしたところ『このタグを入れなくて大丈夫か』という質問をしてくれたことがありました。確認の意味で、配信先に問い合わせたところ、あったほうがベターだという回答があって、『あ、必要なんだな』といったことがありました。”



週刊SPA! Web編集部
ディレクター 浅川 恭平様



週刊SPA! Web副編集長
伊藤 愛尚様

サクサク動く管理画面、期待通りの環境になった

当初、同サイトの公開後数か月は試運転のつもりでスタートしたため、初月に150万PVに到達するとは想定していなかったという。それだけのPV数を獲得しても動作への影響を感じずに運営ができています。また、同社は他のサイトでもWordPressを採用しており、同サイトでも同様に使用しているが、公開済みの記事ボリュームにかなりの差があるとはいえ、体感で速いと感じているようだ。浅川氏は次のようにコメントしている。“他のサイトは記事数が1万を超えているので比較できないのですが、作業する側としては管理画面が軽くなった気はするので作業負担はさほどかからないのではないかと感じています。”

週刊SPA! Web副編集長 伊藤 愛尚氏は管理画面の動作についての今後にも期待をしてきているようで、次のようにコメントしてくれた。“こちらの要望通り、とても動作の軽いサイトを制作いただけました。サクサクの操作感を得られています。今後、コンテンツ量が増えてくる中で、今のパフォーマンスが維持できるかどうかという部分にとっても期待しています。”

1年以内にPV数1000万に到達するためにSEO対策へも期待

最後に、プライム・ストラテジーの評価について伊藤氏に聞いてみたところ、次のようにコメントしてくれた。“システム的なところで、こちらが気づかなくても大丈夫だろうな、という安心感はある。制作の時には大分いろいろ手配して頂いたので非常にありがたいと感じています。今までの制作会社では聞かれなかったけど、後からひも解くと実は必要なことを聞いてくれるなど、頼もしいです。また、SEO的なところで、コードの書き方や表示速度など、SEO対策の技術は他社より抜きん出ているのではないかと感じているので期待しています。安いところは安いけど、安かろう悪かろうになってしまう中、プライム・ストラテジーなら、システム面の安心感があるので、そういうところが強みだなと感じています。”



合同会社コンデナスト・ジャパン

テクノロジー、カルチャーなど「未来トレンド」のメディア

「WIRED」

業界でも名前が知られたディレクターや技術者が多く在籍しているため、WordPressの知識や経験、また問題解決のための勘所などが良く、安心してお任せすることができます。

WordPressサポートプラン

メディアサイト

WordPressサポートプラン	WordPressアップデート	
レスポンスの高速化	セキュリティ強化	運用コスト削減
PV数向上	常時SSL化	高アクセス対策
プラグイン最適化	改ざん検知	迅速な対応

WIRED



ます。また「WIRED」はアーリーアダプター向けのマガジンなので、見た目やデザインが重要です。テーマの改修も軽微なものであれば料金内で対応いただけるとのことで、こちらも期待しています。

今年2月に起きたWordPressの大きな脆弱性が、保守について見直すきっかけになりました

「WIRED」はテクノロジーによって、生活や社会、カルチャーまでを包括したわたしたち自身の「未来がどうなるのか」についてのメディアです。最新のテクノロジーニュースから、気になる人物インタビューや先端科学の最前線など「未来のトレンド」を毎日発信しています。少し前にWordPress4.7.1に大きな脆弱性が見つかったことがありました。このタイミングで脆弱性の解決や今後の保守についてしっかり考えるようになりました。プライム・ストラテジーを含めて4社から提案を受けましたが、WordPress業界というのはまだ価格相場が決まっておらず、各社の提案内容も価格もかなり差がありました。そのような中でWordPressに関する技術力、サービス内容、投資対効果を考え、プライム・ストラテジーの「KUSANAGI公式サポートサービス」を採用することにいたしました。



名前が知られたディレクターや技術者が多く在籍する「プライム・ストラテジーの保守」+「WordPress」の組み合わせを採用

CMSについては本サイトの立ち上げ当初、運営がしやすいものを検討したところ、WordPressはOSSであり、ソフトウェアとして大きなバグなども解決されている、いわゆる「枯れた」ソフトウェアであるため採用したと聞いています。またGCP (Google Cloud Platform) に関しては、サーバ構成 / 運用に独特の「クセ」があることも確認できています。具体的には実際にやってみると、過負荷でチューニングのし直しが必要などということもありました。そのような状況でWordPressにて作られた「WIRED」サイトを健全に運営していくために、高い技術力を持っているプライム・ストラテジーの「KUSANAGI公式サポートサービス」を採用いたしました。プライム・ストラテジーは大曲CTOをはじめとする、業界でも名前が知られたディレクターや技術者が多く在籍しているため、WordPressの知識や経験、また問題解決のための勘所などが良く、安心してお任せすることができます。さらに今回は、現状のベンダー様との座組ができることも、プライム・ストラテジーを選んだ理由の一つです。

現場と同じ温度で動いてくれる外部パートナーが理想でした

営業寄りの担当者であっても技術的な部分の窓口も対応され、幅広い対応をする営業という印象でした。プライム・ストラテジーは体育会系でフルスタックな人材が多い印象があります。当社はメディアの会社です。編集部は非常に体育会系の体質で、ハードに働く社員が多いです。そのような働き方をする編集部でもあるので外部パートナーにも同じような働き方を求める傾向があります。その点、プライム・ストラテジーのスタッフの皆さんの動きは、きびきびしており、対応もやはり同じで、当社の気質と合っているように思えます。迅速に動いていただけるプライム・ストラテジーの姿勢を評価しています。

■ お客様情報

運営会社：合同会社コンデナスト・ジャパン
サイト名：WIRED
サイトURL：http://wired.jp/

サービスイン：2017年5月
利用製品：WordPressサポートプラン

■ 旧サイトの課題

今までのレガシー（テーマ、プラグイン）を清算し、サイトの品質の向上が急務。サーバ負荷の軽減と、ページのロード時間短縮。編集部からのリクエストで、テーマファイル改修が大量にでており、社内外エンジニア含めて手一杯。都度外部に見積もりを出して依頼するのが手間だった。

■ WordPressサポートプランの導入効果

迅速で高度なWordPressのサポートが受けられるようになった。社内運用コストの軽減。

エンタープライズWordPressを健全に運営していくには、プライム・ストラテジーのような専門性の高いベンダーをパートナーにすることをお勧めします

今回依頼した保守内容は本体動作確認とアップデート、プラグイン、コンテンツの改ざんが行われていないかどうかの確認などでした。プライム・ストラテジーはバックエンドエンジニア、インフラの社員層が厚いので安心して依頼できました。

当社もそうでしたが、過去に場当たり的に採用したプラグインが残っていることがあります。WordPress本体のバージョンがアップしても、プラグイン開発者の対応が追いついていないこともあります。そのような状況でエンタープライズWordPressを健全に運営していくにはプライム・ストラテジーのような専門性の高いベンダーに依頼しないとエンタープライズWordPressの運営は難しいと思います。



合同会社コンデナスト・ジャパン
チーフ・テクノロジー・オフィサー
仁礼 英銘様

KUSANAGI公式サポートサービスについて

<https://kusanagi-hosting.com/>

株式会社 交通タイムス社

自動車情報総合誌「CARトップ」のWebサイト

「WEB CARTOP」

「KUSANAGI」導入前は閲覧数が一番伸びるお昼休みに、毎日のように落ちていましたが、変更したとたん一発で解決しました。

KUSANAGI for AWS

メディアサイト

- マイグレーション
- 高速化チューニング
- レスポンスの高速化
- セキュリティ強化
- 運用コスト削減
- PV数向上
- 常時SSL化
- 高アクセス対策
- 管理画面高速化
- 迅速な対応
- 技術相談



■ お客様情報

社名：株式会社交通タイムス社
サイト名：自動車総合情報
Webサイト「WEB CARTOP」

サイトURL：https://www.webcartop.jp/
サービスイン：2016年12月
利用製品：KUSANAGI for AWS

■ 旧サイトの課題

瞬間的なトラフィック増によりサーバへのアクセスができなくなることがあった。記事アクセス時の慢性的な表示速度の遅さに悩んでいた。

■ KUSANAGI for AWSを利用したリニューアルの効果

体感で表示速度が10倍近く早くなった印象があった。第三者のサイト評価も「ベリスロー」から「ファスト」になった。アクセス集中時でも表示が停止することがなくなった。コンテンツ制作時の画面表示が体感で数十倍速くなった。PV数が導入後に2割くらい伸びた。

サーバダウンのストレスから解放！ 「WordPressの課題解決はプライム・ストラテジーが最適、最高」を実感

以前から「KUSANAGI」のことは耳にしており、「WordPressの課題解決であればプライム・ストラテジーが最適・最高」と思っていたので、金額が折り合えば、すぐにでも対応をお願いしたいと思っていましたが、まずは当時利用していたレンタルサーバの環境改善を図ることに。ですが、たいした成果にはつながらず、「KUSANAGI」の導入に踏み切りました。

結果、「KUSANAGI」導入前は閲覧数が一番伸びるお昼休みに、毎日のように落ちていましたが、変更したとたん一発で解決しました。現場では、記者が出張先からWordPressにアクセスしてコンテンツをアッ



株式会社交通タイムス社 WEB CARTOP編集長
石田 貴臣様

プすることもあります。導入後は社外からのコンテンツ更新も問題なく、ストレスなく使えるのがとても良いです。当サイトは写真のコンテンツが多く、以前はとても重かったので、大変助かっています。

正確なコンテンツ作りが信念の「WEB CARTOP」、 アクセスが3倍になって生まれた課題

1968年に創刊し、2006年に通巻600号、2008年に創刊40周年を迎えた、国内屈指の自動車情報総合誌「CARトップ」を発行する交通タイムス社が運営するWebサイトです。サーキットを借り切って新車の運動性能をテストする名物企画などで知られています。「WEB CARTOP」のコンセプトに他にない情報を出すというのがあります。自社取材で正確なコンテンツを作ることにこだわっており、98%オリジナル写真を公開しているのも特徴で、多くのファンの支持を得ています。私は2016年4月から担当していますが、アクセス数があつという間に3倍になり、昼休みなどPV数が集中すると表示が停止してしまうほどに成長、サーバ環境改善に乗り出すことになりました。

毎日のようにサーバが落ちていたのが一発で解決しました

「KUSANAGI」導入前は一番閲覧数が伸びるお昼休みに毎日のように落ちていたのでストレスを感じていましたが、「KUSANAGI」に変更したとたん一発で解決しました。実際の現場作業では出張先からWordPressにアクセスしてコンテンツをアップすることがあります。「KUSANAGI」導入後は社外からのコンテンツ更新も問題なく、ストレスなく使えるのがとても良いです。当サイトは写真のコンテンツが多く以前はとても重かったので、助かっています。

正確な原因分析と丁寧なサポート対応で信頼感UP

今回窓口を担当頂いたプライム・ストラテジー営業部 穂荻氏は、技術的な説明もわかりやすく丁寧な印象を持ちました。また技術スタッフの方にも対応頂きましたが、レポートの提出が速く、そして原因分析も正確で丁寧な印象があります。夜遅くまでご対応頂いたこともあり、信頼感があります。

もっと早く「KUSANAGI」を採用すればよかった！

いろいろ試した結果、「KUSANAGI」にたどり着きましたが、もっと早く「KUSANAGI」を採用すればよかったと思っています。公式サポートサービスは有料ではありますが、そのサービス内容と効果を考えればかなり安いという印象があります。これから「KUSANAGI」を検討される方には、是非「KUSANAGI公式サポートサービス」の検討をお勧めします。



WEB CARTOP 構成について

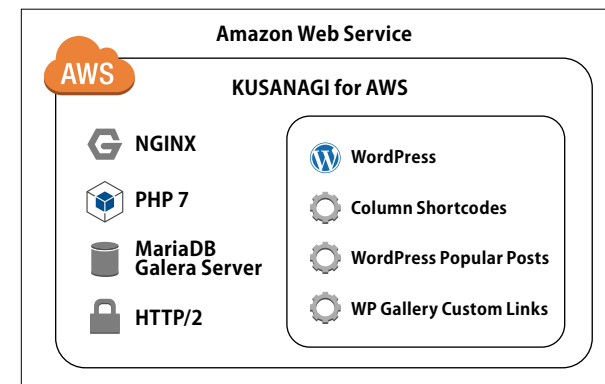
WEB CARTOPのサービスは、フロントエンドにNGINX、PHP 7、DBIにMaria DB Galera Serverを採用しています。またHTTP/2でフルSSL化しています。

KUSANAGI for AWS

https://kusanagi.tokyo/cloud/kusanagi-for-aws/

KUSANAGIについて

https://kusanagi.tokyo/



AppMedia 株式会社

国内最大級ゲーム攻略情報サイト

「AppMedia」

サイトパフォーマンス向上の効果がここまで高いとは当初思いませんでした。今まではサイトパフォーマンスの悪さによる機会損失もあったはず。もっと早く切り替えればよかったです。



KUSANAGI for AWS

メディアサイト

- マイグレーション
- 高速化チューニング
- 24/365運用保守
- レスポンスの高速化
- セキュリティ強化
- 運用コスト削減
- PV数向上
- 常時SSL化
- 高アクセス対策
- 技術相談
- 迅速な対応
- 運用効率の改善

■ お客様情報

サイト名: AppMedia
サイトURL: <http://appmedia.jp/>
利用製品: KUSANAGI for AWS
サービスイン: 2015年11月

運営会社: AppMedia株式会社
本社サイトURL: <http://appmedia.co.jp>
本社所在地: 東京都品川区
事業内容: WEBメディアサービスの開発/運営

■ 旧サイトの課題

表示速度やページ遷移時に時間がかかる。アクセスが集中した際、サイトがダウンすることがある。障害発生時に人員がアサインされず復旧に時間がかかることがあった。

■ 超高速WordPress仮想マシン「KUSANAGI」の活用効果

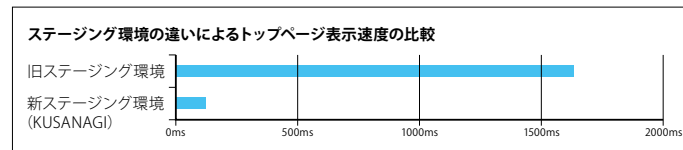
表示速度が大幅に改善した。24時間365日対応のサポートが受けられるようになった。開発期間中は技術者と直接会話して改善方法を検討でき、分かりやすかった。



AppMedia株式会社
エンジニア兼ディレクター
池宮 紀昭様

AppMedia株式会社エンジニア兼ディレクター池宮 紀昭様のコメント

ももとは自社でサーバを運用していました。AppMediaサイトのアクセス数が増え、管理運用の観点からAWSに移行し他社にサーバ運用を委託しました。安定したパフォーマンスを期待していましたが、実際はアクセスが集中した際に不安定な状況が続くことがありました。そのような時にお付き合いしていたFastlyに相談したところ、



プライム・ストラテジーの「超高速WordPress仮想マシンKUSANAGI」のフルマネージドサービスを紹介していただきました。プライム・ストラテジーの提案は、チューニング後のサイトパフォーマンスを数値で示していただく等の(下図参照)技術力に裏付けられた提案でとても良かったです。また、問題解決のコミットをいただけたのでとても安心できました。24時間365日の障害対応ができるどころ、技術者と直接会話できるというのが魅力的で、ご提案から1か月後に発注しました。

「KUSANAGI」への切り替えの様子はいかがでしたでしょうか？

発注後サービスインにかかった作業日数は1日で、「KUSANAGI」に移行して1、2時間でパフォーマンスが安定し、その後パフォーマンスを最大限に引き出すための調整を2週間ほど行っていただきました。サイト移行後はサイトパフォーマンス向上の効果がここまで高いとは当初思いませんでした。今まではサイトパフォーマンスの悪さによる機会損失もあったはず。もっと早く切り替えればよかったです。

プライム・ストラテジーの印象ですが、仕事が速いです。電話した際、すぐに対応頂けるのはとても助かります。スピード感が他とは全然違う対応という印象を持っています。弊社の場合、コンテンツに時間を割きたいので、インフラ部分は他社に任せたいというのが正直なところ。そういう意味でもとても良いパートナーシップが組めていると思います。

「Amazon RDS for Aurora」を導入されましたが、いかがでしたでしょうか？

導入後はどこにボトルネックがあるか分析しやすくなりました。また高い負荷がかかった時でも今まで以上に安定しました。「Amazon RDS for Aurora」導入によってパフォーマンスを向上させながら、RDSの機能である自動バックアップやフェイルオーバー等がされるのでとても安心です。

「KUSANAGI」導入で何か変わったことはありますか？

「KUSANAGI」導入以前は、インフラの安定性が悪く、負荷によるサイトダウンが怖くて、機能改善もなかなかできませんでした。「KUSANAGI」に移設してから、パフォーマンスが安定しているため、機能リリースの頻度が以前よりかなり増えました。

AppMedia構成について

AppMediaのサービスは、フロントエンドにReal-time CDNのFastlyをバックエンドにKUSANAGI for AWS (nginx、php-fpm構成)、DBにAmazon RDS for Auroraを採用しています。

またWordPressドロップインプラグインである、Hyper-DBを採用。Read-Replicaの構成にし負荷分散およびパフォーマンスの確保と可用性の確保の両立を実現しています。

プライム・ストラテジーはAPNコンサルティングパートナーとしてAurora Ready/パートナーに認定されています。

KUSANAGI for AWS

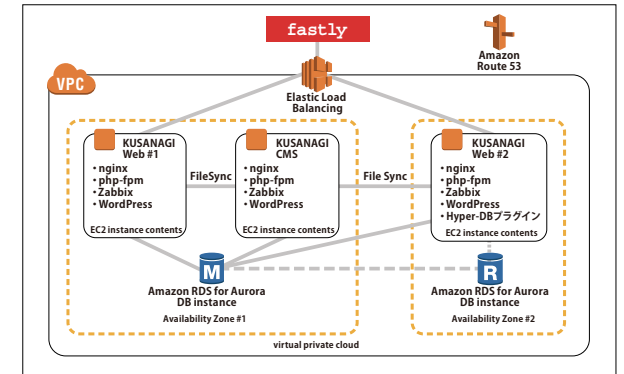
<https://kusanagi.tokyo/cloud/kusanagi-for-aws/>

Amazon RDS for Aurora

<https://aws.amazon.com/jp/rds/aurora/>

Hyper DB

<https://ja.wordpress.org/plugins/hyperdb/>



株式会社 NEWSY

気になるアレを大調査ニュース!

「しらべえ」

プライム・ストラテジーと24時間保守契約をしたことで、24時間高速表示されるようになり、とても助かっています。

KUSANAGI for AWS メディアサイト

- マイグレーション
- 高速化チューニング
- 24/365運用保守
- レスポンスの高速化
- セキュリティ強化
- 運用コスト削減
- PV数向上
- 常時SSL化
- 高アクセス対策
- 迅速な対応
- 技術相談
- 運用効率の改善



■ お客様情報

社名: 株式会社NEWSY
サイト名: しらべえ
サイトURL: <https://sirabee.com/>

サービスイン: 2016年10月
利用製品: KUSANAGI for AWS

■ 旧サイトの課題

サーバ費・運用コストが見合っていない。WordPressのソースコードが複雑化してしまったため、整理するタイミングであった。サーバの24時間体制に不安があった。

■ KUSANAGI for AWSを利用したリニューアルの効果

WordPressのセキュリティを強化できた。パフォーマンスが3倍に向上した。Webエンジニアが在籍していない当社でも健全かつハイパフォーマンスなWordPressの運営ができるようになった。WordPressの運営管理の手間から解放された。常時SSL対応も迅速な対応ができた。

「KUSANAGI」導入効果で、24時間公式サポートを導入してもおつりがくるほどです

当初、月間100万PVくらいの予定が、現在ではオーガニックで月間1000万PV、他メディアからの流入を入れると月間3200万PVのサイトに成長しました。そこまでのサイトになると、ノウハウのあるところに預けないと不安です。サーバ停止1時間で10万PVは失います。それだけで広告収入が落ちます。しかし「しらべえ」は当初から重たいサイトでした。それ故にプライム・ストラテジーに依頼しました。

高いパフォーマンスに耐えられるよう、プラグインなどを導入したりしていましたが、実はあまり評判が良くないプラグインだったりしたこともありまして。伸びていくPVに対応するべく、サーバを大きくするなど場当たり的に対処していましたが、コスト負担が大きくなり、「KUSANAGI」を導入することにいたしました。従来の高額なクラウド料金を減額して、「K USANAGI」と「KUSANAGI公式サポートサービ



株式会社NEWSY 代表取締役
タカハシ マコト様

ス」を導入してもおつりがくるくらいです。

メディア業界の常識として、ニュースメディアには速度が必要です。実際に遅いサイトは読者から選ばれません。特に「しらべえ」の場合は夜間に見られることも多いので、プライム・ストラテジーと24時間保守契約をしたことで、24時間高速表示されるようになり、とても助かっています。

安定したメディアサイト運用こそが配信先から求められていること

「しらべえ」の記事はグノシー、スマートニュースにも配信されます。「しらべえ」サーバが落ち、サイトが表示されなくなると、配信先サイトからの信頼度が下がります。そうなると一番上に表示してくれないどころか、記事を取り上げてすらもらえなくなります。安定したメディアサイト運用が配信先から求められており、安定しているということが、配信先からの信頼につながっているのです。「しらべえ」の信頼を支える技術として「KUSANAGI」を評価しています。

株式会社NEWSY 代表取締役 タカハシマコト様からのコメント

大型のサイトを運営したことがある方でないといわれないことですが、メディアの運営ではサーバの知識がある人を巻き込むことが大切です。サーバの知識がある方がメンバーにいないと、高い負荷に耐えられるようサーバ構築で試行錯誤しているうちに、サイトが成長するチャンスを逃したり、作業時間を犠牲にすることになります。実際に、サイトのパフォーマンスが悪くてPVが伸び悩んだこともありまして。自分たちの反省を踏まえて、これからメディア運営をされる方には「KUSANAGI」を使って運用して欲しいと思います。

サーバが止まると、記者にフラストレーションが溜まるのも事実です。「KUSANAGI」の導入後は「PVが伸びるはずの良い記事なんですけど、何でサーバが落ちているんですか？」みたいなことを言われることがなくなりました。「KUSANAGI」を導入することで、サイトが落ちにくくなり、パフォーマンスが安定します。

構築支援をされた株式会社しくみラボ 代表取締役 田村 啓様からのコメント

「KUSANAGI」を使わないエンジニアは、エンジニアのセンスが弱いのか、最新情報の研究不足のどちらかだと思えます。WordPressを使うなら、「KUSANAGI」を必ず使うべきです。その理由は1000万PVに耐えられるWebサイトを、ほぼ何も努力しないで作れるからです。

「KUSANAGI」を導入する前までは、Webサイトのパフォーマンスを上げるために無駄な試行錯誤をしていました。「KUSANAGI」登場後はAWSインスタンスを大きくした後、「KUSANAGI」を入れるだけで、月間1億PVくらいまで耐えられるはずでした。こちらのサイトも「KUSANAGI」に乗り換えてから安定しました。「KUSANAGI」導入前までは、あっちをふさげばこっちから水が出てくるといった状態でした。都度場当たりの対応でその場をしのぎ、根本的には問題が解決していない状態でした。

「KUSANAGI」は、月額500円から使えるConoHaのサーバで運用する個人サイトであっても、あるいは1億PV集めるようなメディアサイトであっても、同じように無料で使えるなんて、わけがわからないくらい凄いものだと思います。

構築支援パートナー: 株式会社しくみラボ <http://www.shikumilab.jp/>

しらべえ 構成について

しらべえのサービスは、フロントエンドにCentOS 7、PHP-fpm、DBにMaria DB Galera Serverを採用しています。またHTTP/2でフルSSL化しています。

KUSANAGI for AWS

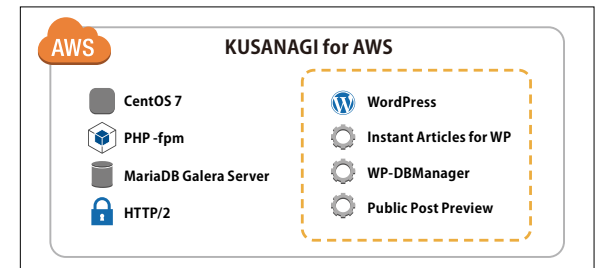
<https://kusanagi.tokyo/cloud/kusanagi-for-aws/>

KUSANAGIについて

<https://kusanagi.tokyo/>



(右二人目) ニュースサイト「しらべえ」記者 金山 雅俊様
(右一人目) 株式会社しくみラボ 代表取締役 田村 啓様



超高速 CMS 実行環境「KUSANAGI」とは

超高速 CMS 実行環境「KUSANAGI」(以下「KUSANAGI」)は、プライム・ストラテジー株式会社が開発・構成する、CMS を高速に動作させるための仮想マシンおよびそのイメージです。WordPress の実行時間 3 ミリ秒台、秒間 1000 リクエストをページキャッシュ非使用で実現する世界最高速クラスの CMS 実行環境です (*1)。

KUSANAGI の特徴

KUSANAGI は WordPress を始めとした各種 CMS 環境から、PHP、MySQL で動作する LAMP 環境まで、様々な環境を高速に動作させることが可能となります。

Web サイトが遅い、重い

超高速 CMS 環境

超高速 CMS 実行環境「KUSANAGI」はあなたの Web サーバを通常の約 10 倍の速さにブーストさせます。ぜひこの速さをご体験ください。

Web サイトが安全に

高セキュリティ Web サイト

常時 SSL を高速な環境のまま導入するには実は最新の Web サーバが必要です。Let's Encrypt と HTTP/2 対応など、「KUSANAGI」は常に最新の環境を提供しています。

より強い SEO 効果へ

最新の SEO に効果的

高速化も常時 SSL 化も最新の SEO には重要なファクターです。「KUSANAGI」はさらに強力に SEO の効果を発揮します。



PV 数、回遊率向上 収益性を高めます

「KUSANAGI」の導入で約 40% の PV 数向上を実現した実績もあります。メディアサイトなら収益性が向上します。コーポレートサイトなら SEO 効果が高くなります。



企業イメージを守ります

脆弱性の対応にはそれなりに工数がかかります。アプリケーションリポジトリによるアップデートを可能とした「KUSANAGI」なら常に最新の環境が企業のデータを守ります。



マーケティング効率を向上します

Google が目指す最新の SEO にはユーザー体験が含まれます。「KUSANAGI」は高速化から常時 SSL 対応までワンストップで実現可能です。マーケティング担当者はコンテンツに注力しましょう。

パフォーマンス測定結果

プライム・ストラテジー内部のパフォーマンス測定結果では、以下の処理能力を実現しています (*2)。

ab-n 10000-c 300 https://kusanagi.tokyo/

Server Software	nginx
Server Hostname	kusanagi.tokyo
Server Port	80
Document Path	/
Document Length	6952 bytes
Concurrency Level	300
Time taken for tests	9.643 seconds
Complete requests	10000
Failed requests	0
Write errors	0
Total transferred	71680000 bytes
HTML transferred	69520000 bytes
Requests per second	1036.97 [#/sec] (mean)
Time per request	289.305 [ms] (mean)
Time per request	0.964 [ms] (mean, across all concurrent requests)(*2)
Transfer rate	7258.78 [Kbytes/sec] received

*1 最大性能時。実行する仮想マシンインスタンスの性能や Web サイトの内容（機能、データ量など）に依存します。

*2 このテストでは 4 コア (4vCPU) の仮想マシンを利用しているため、WordPress の実行時間は 0.964 ミリ秒に 4 を乗じた 3.856 ミリ秒となります。

※本事例集に掲載されている会社名、商品・サービスの名称は、それぞれ各社が保有する商標または登録商標です。 ※サービス名は提供時のものです。

お問い合わせ・詳細は KUSANAGIマネージドサービスサイト、またはお電話で

 <https://kusanagi-hosting.com/inquiry/>

 **03-6551-2996** (受付時間:9:00~18:00 / 月曜日~金曜日)



プライム・ストラテジー株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエア イーストタワー18F
TEL:03-6551-2996 FAX:03-6551-2941
<https://www.prime-strategy.co.jp/>